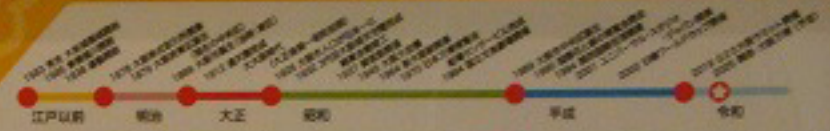
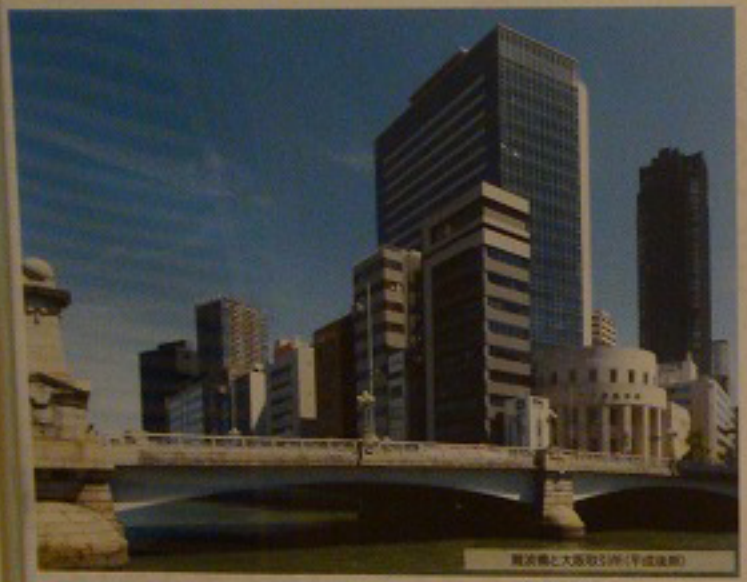
経済の要 北浜・淀屋橋

最寄駅：　オオサカメトロ 各線 北浜駅・淀屋橋駅
　　京阪電車 北浜駅・淀屋橋駅





● 旧北浜2丁目交差点界隈

現在の1丁目で、写真左右が堺筋、正面奥が土佐堀通り。金融の中心地として、証券会社の看板が多く見られます。
<昭和 50(1975) 年頃>

● 奇抜さも斬新なる北浜街

土佐堀通りを中央に市電が走る風景。写真右に中之島や難波橋が見えます。
<昭和 8(1933) 年頃>

● 大正から昭和初期の難波橋

「ライオン橋」の愛称でも親しまれているとおり、橋の欄干にはシンボルのライオン像が見られます。橋上の市電は、当時大阪のメインストリートだった堺筋を走っていました。

● 大阪証券取引所の全景

令和の現在でも、丸みを帯びた建物の外観は残され、地域のランドマークとして親しまれています。
<昭和後期（詳細不明）>

● 大阪株式取引所 内部

中央の取引の場を熱心に眺める来館者。多くの人の装いは、まだ和装。
<大正 4(1915) 年頃>

● 大阪株式取引所

現「大阪取引所」となる以前の建物。写真左路上に人力車が見られます。
「明治 4(1909) 年～明治 43(1910) 年の写真帖」より。

大大阪時代の経済の中心地『北浜』・『淀屋橋』

江戸時代初期から米市場や金相場会所があり、両替商、米問屋、米仲買が集まる金融の中心地として栄えていました。明治維新後、五代友厚らによって金相場会所跡に大阪株式取引所（現在は大阪取引所）が開設され、北浜周辺は株式取引所を中心に金融街として発展してきました。

大阪証券取引所（現在は大阪取引所）の建物は、平成16(2004)年に高層化、全面改築されましたが、円形エントランスホールと外観は保存されました。いまも北浜のシンボルとして親しまれています。

コラム

北浜という地名は船場の北の浜（河岸）から来ています。北浜から淀屋橋にかけての一帯は現在も銀行、証券会社、保険会社が数多くあります。

近年では中央区人口増に伴い、景観や利便性の良い北浜エリアにタワーマンションなどが多く立ち並ぶようになりました。

昔も今も働く人が行き交う船場。立派な建物は、レストランなどに活用され、楽しむまちとして発展しつづけています。

大阪市中央区役所
中央区魅力発信！ いま むかし にぎわいパネル

ほかにも沢山の情報を掲載した「わがまちガイドナビ」をご覧いただけます